

# 大切な自然②

甲賀市内にすむ絶滅が心配される動植物やそれらを育む大切な自然についての連載です  
春の山の花・エビネ



● エビネ

エビネとその仲間の野生のランは、花の美しさで古くから親しまれてきました。えびの形のような地下茎を持っていることから、海老根ーエビネと名がつけられました。

エビネは山地の林内に生える多年草で、春に新葉と花茎を伸ばし、花が咲きます。日本全土に分布していましたが、近年の山草ブームで乱獲され自生地からほとんどなくなってしまうしました。環境庁(現在環境省)が2000年に発表した、絶滅が心配される植物の中の1種です。甲賀市ではいくつか自生地が確認されて

いますが、わずかに残るだけです。

ランの仲間で、絶滅危惧植物として挙げられているクマガイソウ、ウチヨウランは、1970年代前半頃まで、甲賀市に自生していたと考えられています。現在では確認できず、絶滅が心配されています。

自然から1種の植物が失われていくことは、その植物をとりまいて生きてきた生き物に影響を与え、しだいに自然が変わっていくことにつながります。

甲賀市内のエビネをはじめクマガイソウ、ウチヨウランの自生地の調査をさら

に続け、その生育を確認したいと思っています。

**みなくち子どもの森自然館**  
☎ 63-6712 FAX 63-0466

5月の休園日 1(月)、8(月)、15(月)、22(月)、29(月)

## 甲賀市文化協会連合会文芸欄

今回は甲賀町文化協会からお寄せいただきました。

### 甲賀町俳句同好会 北川 溪舟 選

- 山笑うかつて転作ありし田面
- 連野火となりて山川に心置く
- 山笑う退院同志の笑みし顔
- 猫の恋ためして合点悠々と
- バスの旅真下に野火の煙り立つ
- 足元に消え沈みたる畦火かな
- 歳忘れ趣味追いかけて山笑う
- 猫の恋眠れぬ夜の窓の外
- 陽の光り天地の恵み山笑う
- たそがれの若草山や野火走る

- 増井 竹史
- 立岡ききえ
- 立岡 久女
- 中井よしの
- 松島 芳子
- 村山多喜栄
- 中島 節子
- 堅田八重子
- 曾和きくえ
- 藤橋 淑子

### 鹿深句会

- 賑やかに雪解け道を帰る子等
- 雪解けのぬかるみわざと元氣な子
- 薄氷の余呉湖の汀日をはじく
- 露のとう探す草原胸躍る
- 病癒え久しき野道下前ゆる
- 薄氷の動き始めし昼下がり
- 着ぶくれてひとつ躓き又ひとつ
- 悲しみの通夜の詠唱牙え返る
- 慰霊祭鎮魂の鐘牙え返る
- 迎春花袴姿の娘の晴れ着

- 林井 道乃
- 東 美智代
- 桑田美智子
- 大北 のぶ
- 山下 淑子
- 山下 美幸
- 前田よし系
- 堀 小夜子
- 茂田 悦子
- 松島 初江

### 甲賀川柳 井上 謹三 選

- 小学校初めて靴を履いた笑み
- 子育てのイナバウアーで入気の子
- 生きの良い市場の声でマグロ買う
- 市になって猪鹿猿がやってくる
- 学校では金では買えぬ友が出来
- 母の愛同行二人ランドセル
- 出て来たよ裁縫学校の小道具が
- 世界野球日の丸背負う優勝戦
- 逆らえぬ風とわかって席を立つ
- 元旦や羽根つく子らを見ないまま

- 藤橋阿さ江
- 瀬古 一郎
- 桑田 次雄
- 奥山 康雄
- 北川 溪舟
- 松本みさ枝
- 隠岐 信子
- 藤原 良子
- 山下きよの
- 岡本みつ子

次号(6月1日号)は、あいの土山文化協会の予定です。